

地域金融機関の創業支援と地域経済

信金中金月報掲載論文編集委員

永田 邦和

(長野県立大学 グローバルマネジメント学部教授)

秋になると、大学4年生は卒業論文(卒業研究)に真剣に取り組み始めます。教員の希望を言えば、もっと早く始めて欲しいのですが、学生も就職活動等で忙しく、なかなか本腰を入れてくれません。ようやく真剣に取り組んでくれたと思ったら、中間発表の際に、「内定先の研修があったので、進んでいません」と言われてしまいます。締め切り直前になり、学生から原稿が届きますが、時間もないので、文章の添削しかできないこともあります。

大学によっては、卒論の中間発表会や最終発表会を行っているところもあります。学生が良い発表をすると、他の教員から「先生の指導が良いからですね」と褒められ(お世辞を言われ)、良くない発表には「大変ですね」と同情されるか、「もっと厳しく指導したら」とアドバイスされます。良い発表をする学生は、日頃から熱心に取り組んでおり、ほとんど改善点を指摘することがないので、短時間の指導で済みます。一方、日頃から熱心でない学生の指導には、かなりの時間を割かれます。論文の様式やフォーマルな文章の書き方を教え、改善点を詳細に説明しても、次の発表では直っていません。締め切りが近づくと、「卒論を提出できるのか」と心配になり、無事に提出したと連絡があると、安心します。

このように、卒業論文の指導時間と成果の間には必ずしも正の関係がありませんので、教員の指導時間を卒論指導の指標にすると、指導時間の長い学生ほど、卒論の成果が良くないということになります。同じように、地域金融機関の創業支援に関しても、意欲やアイデア、経営・会計の知識等が備わっている創業者であれば、それほどの支援がなくても創業できますが、そうでない創業者に対しては、多くの支援をしても創業できない可能性があります。地域金融機関の創業支援の指標を作るのも非常に難しい作業です。

2020年12月に、筆者は、家森信善 神戸大学教授と近藤万峰 愛知学院大学教授、奥田真之 愛知産業大学教授と共同で、創業企業を対象とした「金融機関による創業支援に対する企業の意識調査」を実施しました。創業企業に地元地域の金融機関の創業支援に対する評価を尋ね、回答結果を都道府県ごとに集計して、各都道府県の地域金融機関の創業支援の指標を作成しました。以前、この研究の途中経過を紹介しましたが、2022年9月に研究成果が公表されたので、創業支援に関する部分を簡単に紹介させていただきます。

地域金融機関の創業支援に対する評価と地元地域の経済環境に対する回答の相関を調べると、地域金融機関の創業支援に対する評価が高い都道府県ほど、回答者（創業企業）は、地元地域の創業や経済が活発であるとの印象を持ち、地域の将来も明るいと考え、多くの若者が地元企業に就職していることがわかりました。また、地域金融機関の創業支援の評価が高い都道府県では、実際の開業率や県内総生産成長率等も高くなる傾向にありました。地域金融機関の創業支援が地元地域の創業に貢献していることが示されました。

創業企業を増やすことは重要な政策課題ですので、地域金融機関以外の組織や団体も創業支援を行っています。この調査では、都道府県や市町村、政府系金融機関、信用保証協会、商工会議所の創業支援の姿勢に対する評価も尋ねました。回答結果を整理すると、地域金融機関の創業支援に対する評価が高い都道府県ほど、これらの組織・団体の創業支援の姿勢も熱心であると評価されています。創業企業は保証付き借入れをすることが多いので、地域金融機関だけでなく、信用保証協会からも支援を受けることになります。地域金融機関と信用保証協会の連携がより深まることで、両者の創業支援がより効果的になります。創業支援において、それぞれの組織・団体には得意な分野があるので、地域金融機関が他の組織・団体と連携することで、より効果的に支援できる可能性が示されました。

筆者達の調査では、回答企業のメインバンクの強みについても尋ねています。この回答結果からは、創業支援に意欲的なメインバンクの多い都道府県ほど、担保や保証に頼らず融資できる力と、事業内容や将来性を理解する力、有益な情報の提供に対する評価が高くなることが示されました。創業企業は担保になる資産を保有していないので、地域金融機関が、融資をする際には、担保や保証に頼らず事業内容や将来性を理解する必要があります。創業支援の効果を高めるためには、事業性評価の定着や目利き力の向上が必要になります。創業企業は、資金繰りが悪化したときに、販売拡大に努めることが多いですが、創業支援に意欲的な金融機関ほど、販売拡大に必要な情報（新規顧客の紹介等）を提供している可能性が示されました。また、顧客に寄り添う姿勢や窮状時の支援姿勢に対する評価も高い傾向にありました。創業期には、経営者も不安を感じながら経営し、多くの困難も経験します。創業支援に意欲的な地域金融機関は顧客に寄り添い、窮状時に支援するので、これらの項目の評価も高くなります。

上記の内容の詳細は、家森信善・永田邦和・近藤万峰・奥田真之（2022）「地域金融機関の創業支援が地域の創業に与える影響」（RIETI Discussion Paper Series 22-J-033）で述べております。興味を持たれた方は、是非御覧ください。また、今年の4月に開学した長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科（専門職大学院）では、将来の起業家を育てています。修了生が創業する際には、読者の皆様から多大な御支援をいただけると幸いです。